

様式 6

補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	漁業近代化資金利子補給費	開始 年 度	昭和45年度
団 体 名	北海道信用漁業協同組合連合会		
助成の根拠既定等 (条例・規則・要綱等)	函館市漁業近代化資金利子補給規則 函館市漁業近代化資金利子補給規則実施要領		

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	近代化が必要な20トン未満の階層は経営基盤が弱く、設備資金が不足しているため、漁業協同組合においては、当該資金を漁業者に対し幅広く活用させ、漁船建造、水産倉庫、漁網、養殖施設など漁業に必要な施設の近代化に取り組んでおり、本市の漁業振興と漁家経営の安定を図る観点から、市の利子補給による支援を通じ、漁家負担を軽減している。
目 的	(目 的) 漁業者等の資本装備の高度化を図り、その経営の近代化に資するため、昭和44年に創設された資金であるが、漁協等の金融機関が漁業者等に長期かつ低利な施設資金等を融通する制度であり、北海道および市が利子補給を行っている。(利子補給率 市：年1.00% 北海道：年1.25%)
・ 効 果	(効 果) 国の制度資金である漁業近代化資金について、北海道および市が当該資金の借入にかかる利子補給を行うことにより、漁業者負担の軽減および漁家経営の安定、水産物の安定供給、持続可能な沿岸漁業の推進が図られる。

○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	自己資金	計
		市	その他					
収	28 (決算)	610	829				64,870	66,309
	29 (決算)	477	802				62,900	64,179
	30 (予算)	497	1,084				85,108	86,689
入	30 (決算)	497	1,110				87,173	88,780
	31 (予算)	407	942				74,039	75,388
支 出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等			計
	28 (決算)			66,309				66,309
	29 (決算)			64,179				64,179
	30 (予算)			86,689				86,689
	30 (決算)			88,780				88,780
	31 (予算)			75,388				75,388

様式 6

補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	漁業近代化資金利子補給費
----------------	--------------

○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	☒ ☒ ☒	☐ ☐ ☐	当該事業による漁業者の利息軽減により安定した漁業経営および生産物の安定供給が図られ、結果として安全な水産物を求める市民の消費生活の向上に役立つ事業となっている。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	☒	☐	本市の漁業振興と漁家経営の安定を図る観点から、市の利子補給による支援を通じ、漁家負担を軽減していく必要がある。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	☒	☐	当該資金の借入には、資金運営に関する事業計画が必要であり、計画を立てながら漁業経営の安定化に努めている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	☒	☐	当該資金については、道からも利子補給を行っており、市から上乗せで利子補給することで、漁業者のさらなる利息軽減および経営安定化、持続可能な水産業の推進を図ることができることから最適である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	☐	
2	補助金等の使途は適切である	☐	
3	積算基準は定められている	☐	
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	☐	
5	前年度繰越金は生じていないか	☐	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	☐	
7	経常経費の節減に努めているか	☐	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

補助金・交付金チェックシート(No.3)

補助金名 (交付金名)	漁業近代化資金利子補給費
----------------	--------------

○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等) 漁業近代化資金利子補給者数(延べ人数) ・平成26年度: 利子補給対象者505人, 利子補給額11,414千円 ・平成27年度: 利子補給対象者491人, 利子補給額10,113千円 ・平成28年度: 利子補給対象者484人, 利子補給額 8,443千円 ・平成29年度: 利子補給対象者489人, 利子補給額 6,869千円 ・平成30年度: 利子補給対象者446人, 利子補給額 5,914千円
(達成状況) 国の制度資金である漁業近代化資金について, 北海道および市が当該資金の借入にかかる利子補給を行うことにより, 漁業者負担の軽減および漁家経営の安定, 持続可能な水産業の推進。 平成30年度利子補給額実績: 5,913,577円【函館市漁協: 176,677円, 南かやべ漁協: 3,128,345円 利子補給率1.00%(北海道1.25%) 戸井漁協: 476,775円, 信漁連: 496,477円 えさん漁協: 1,635,303円】

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。

(評価) 十分効果をあげている ☒ 一定の効果をあげている ☐ 効果が疑問である ☐ その他 ☐	(理由) 国の制度資金である漁業近代化資金について, 北海道および市が当該資金の借入にかかる利子補給を行うことにより, 漁業者負担の軽減および漁家経営の安定, 水産物の安定供給, 持続可能な沿岸漁業の推進が図られていると判断したため。
---	--

○今後の方向性

☒ 現行のまま補助を継続 ☐ 見直したうえで補助を継続 ☐ 廃止 ☐ その他	(見直しの内容) (見直しの時期)
(廃止の理由) (廃止の時期)	(その他の内容)

○終期の設定

終期設定	☐ 終期到来により廃止 ☒ 終期到来時に再検討	次回チェック年度(予定)
令和3年度		令和3年度